

料金後納郵便

郵便区内特別

〒431-0422

カスタマバーコード

新所岡崎梅田入会地 1 0 4 4 番地の 3 2 7  
コサイシケンコウフクシセンターB 4 0 3  
5

湖西 花子 様

重要

湖西市 がん検診等受診券

検診実施期間

令和 3 年 4 月 21 日（水）から  
令和 3 年 10 月 31 日（日）まで

（一部の医療機関では、令和 4 年 1 月 22 日（土）  
まで実施しています。裏表紙を御覧ください。）

※検診の結果は、医療機関から湖西市健康増進課  
に報告されます。

※検診は、自覚症状のない健康な方こそ、受けて  
いただくべきものです。これを機会に検診を受  
けることを習慣にしましょう。

※自己負担が無料の対象年齢は「73 歳以上」です。  
（平成 30 年度からお知らせしているとおり、  
無料の対象年齢を段階的に引き上げており、  
令和 5 年度以降は「75 歳以上」となります。  
ご理解ご協力をお願いします。）

〒431-0442 湖西市古見 1044 番地

湖西市役所 健康増進課

TEL 576-1114

別添 5

令和 3 年度 受診券

切り離して医療機関または集団検診受付にお出しください。

検 診 名 (自己負担額)	胃がん検診(X 線のみ) (1,000 円)	受診券番号 9314
受診者名	湖西 花子	
生年月日	昭和55年4月2日	( 41 歳) 令和 4 年 3 月末時点

令和 3 年度 受診券

切り離して医療機関または集団検診受付にお出しください。

検 診 名 (自己負担額)	大腸がん検診 (500 円)	受診券番号 9314
受診者名	湖西 花子	
生年月日	昭和55年4月2日	( 41 歳) 令和 4 年 3 月末時点

令和 3 年度 受診券

切り離して医療機関または集団検診受付にお出しください。

検 診 名 (自己負担額)	子宮頸がん検診 (1,000 円)	受診券番号 9314
受診者名	湖西 花子	
生年月日	昭和55年4月2日	( 41 歳) 令和 4 年 3 月末時点

令和 3 年度 受診券

切り離して医療機関または集団検診受付にお出しください。

検 診 名 (自己負担額)	*乳がん検診(使用不可)* *****	受診券番号 9314
受診者名	*41歳の女性には、後日、無料クーポン 券を送付します。(5月中旬発送予定)**	
生年月日	昭和55年4月2日	( 41 歳) 令和 4 年 3 月末時点

令和 3 年度 受診券

切り離して医療機関または集団検診受付にお出しください。

検 診 名 (自己負担額)	骨粗鬆症検診 (500 円)	受診券番号 9314
受診者名	湖西 花子	
生年月日	昭和55年4月2日	( 41 歳) 令和 4 年 3 月末時点

受診までの手順

手順 1：受診方法(個別検診または集団検診)を決める。

個別検診

湖西市内の医療機関で検診を受ける方法です。  
(実施医療機関は、裏表紙の一覧表をご覧ください。)

集団検診 (完全予約制) 9 月・10 月中に実施予定

健康福祉センターまたは新居地域センターで集団検診を  
実施する日から、希望日を選んで検診を受ける方法です。  
[※詳細は、広報こさい6月号\(5月15日発行\)で確認してください。](#)

手順 2：医療機関に予約する。(個別検診)

裏表紙の一覧表に「要予約」の表示がない場合は、不要です。

手順 3：医療機関へ行き、受診する。(個別検診)

〈持ち物〉

- ・受診券 (1 枚ずつ切り離して、お持ちください。)
- ・自己負担金 (金額は、各種検診の内容をご覧ください。)
- ・健康手帳 (40 歳以上でお持ちの方)  
※お持ちでない方は、検診受診時に希望があれば交付します。
- ・健康保険証

注意事項

- ①妊娠中またはその可能性がある方は、胃がん検診、乳がん  
検診及び子宮頸がん検診を受診できません。
- ②勤め先や、人間ドック等で検診を受ける機会のある方は、  
重複して市の検診を受ける必要はありません。
- ③治療中の方は、主治医とご相談ください。

がん検診について

検診には**デメリット**があります。

がんは、発生してから一定の大きさになるまでは発見できません  
し、見つけにくいがんもあるため、全てのがんを検診で発見できる  
わけではありません。

また、がんであっても**要精密検査**と判定されることや、放置して  
も死に至らないがんを発見する可能性もあるため、結果的に不必要  
な治療を受けなければならない場合もあります。

ただし、胃がん検診(X線検査、内視鏡検査)、大腸がん検診(便  
潜血検査)、乳がん検診(マンモグラフィ)及び子宮頸がん検診(細胞  
診)は、**死亡率の減少が科学的に証明された検診**であり、デメリッ  
トと比べて、がんで亡くなることを防ぐ**メリット**が大きいことが証  
明されているため、必ず定期的に受診してください。

がんの特徴

胃がん	50 歳以上の方にかかる人が多く、日本のがんに よる死亡原因の上位に位置するがんです。
大腸がん	かかる人が増加しており、日本のがんによる死 亡原因の上位に位置するがんです。
乳がん	かかる人が日本の女性のがんの中でも多く、が んによる死亡原因の上位に位置するがんです。
子宮頸がん	かかる人が日本の女性のがんの中でも比較的多 く、30-40 歳代の方で近年増加傾向にあります。